



▲昨年6月の県道9号線草刈り事業（環境整備事業）

# 会長川村氏留任 振興会総会開く

一月二十二日（日）四ツ小屋地区振興会総会が上町総合生活センターで開催され、会長に川村良喜氏（末戸松本）が留任した。

総会は、地区民、理事の町内会長その他、各主要団体や来賓の四ツ小屋小・石井校長、伊藤議員他四名など合わせて三五名が参加して行われた。議長には上町の伊藤市郎氏を選出、令和四年度事業報告、その後、一般会計の他、駅公衆トイレ、よつこや秋まつり等の特別会計などを承認、令和五年度の事業計画、予算案などの案件も全会一致で承認された。

役員改選では立候補者が無く、執行部案を要求、会長川村氏の他

副会長三名が留任、内一名は町内会長からの選出。

留任した川村会長は、「私も大分長く会長職にあり、世代交代を考えていたが、もう一期続けることになった」と、協力に感謝、今後のお願いのあいさつがあった。

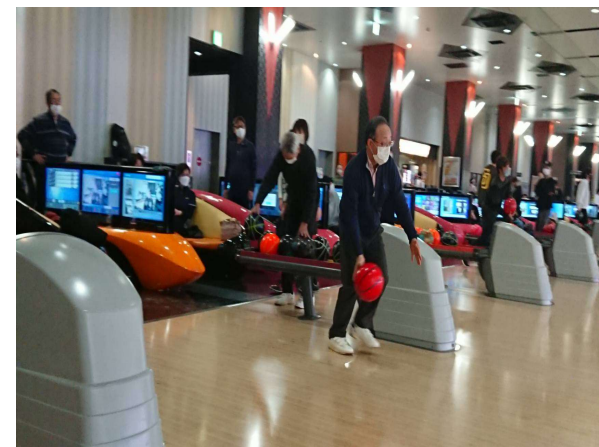
## 男子・星さん、女子・榎尾さん優勝

### 体協ボウリング大会開催

一月四日（土）四ツ小屋体育協会（榎昌範会長・上町）のボウリング大会がラウンドワンで開催された。団体優勝は体協役員チーム、個人男子は星薫（御野場）、女子榎尾正子さん（御野場南）が優勝した。

体協は卓球やグラウンドゴルフなど、スポーツイベントを数多く主催する団体。感染症の影響でこの大会は3年ぶり、記録に残る平成から今年で二六年目となり長く続く大会だが、参加希望者の減少傾向はみられず、地域の皆様には冬の体力不足解消の大イベントといえる大会となっている。

二位以下の成績は次の通り、（敬称略）団体の部第二位・御野場、第三位・御野場南。個人の部男子第二位・伊藤史（上町）、第三位



・星陽斗（御野場）、女子第二位・佐々木可奈子（御野場）、第三位・阿部昭子（御野場南）。おめでとうございます。情報提供体協

また、振興会の別組織、四ツ小屋地域元気づくり協議会事務局から、「元気づくり」の活動方針などが説明され、この活動を他人事と思わず、地域全体の活動と受け止め活動への出資と、協力が呼びかけられた。その他役員会のあり方や人口減対策、事業費などの使途についての提言があった。

総会で決定した副会長は、榎昌範氏（上町）新田宏光氏（下町）町内会長会長々長・加藤貞吉氏（中野）、監査委員は町内会持ち廻りで次年度は駅前、末戸松本、上町の各町内からそれぞれ選出され、後日報告される予定。

## カントリーエレベーター ってなあに？

四ツ小屋字東泉寺に昨年完成した秋田市南カントリーエレベーターがある。一体何をする所なんだろう。中野地区と県道九号を挟んだ東側に建つこの施設。圃場整備事業で大規模化させた田圃の米や大豆の乾燥や品質の管理を総合的に一手に引き受けている施設だ。敷地面積は約〇〇㎡（※1）機械棟と乾燥機棟に別れているが、両延床面積を合わせて〇〇㎡（※2）となる。この他貯蔵設備棟として十基のサイロがある。持ち込まれた米は、夾雑物除去し水分、重量を計測し、その後乾燥、貯蔵、糶摺り、光選別を経て出荷するという一連の管理を行う。作業規模として水稻対象面積412畝、大豆対象面積80畝の能力がある。（1畝/1万㎡）※〇に数字を入れてみよう。（Cエレベーター資料より）答は一面

こころ耕す大地の恵み  
**YOTSUBA FARM**  
株式会社 四ツ葉ファーム  
〒010-1418  
秋田市四ツ小屋小阿地字坂ノ下60-2  
☎(018)839-1703 ☎090-5593-4198

## せせらぎ

仙台出張の際、会議の後に夜の居酒屋を覗くと、あちらこちらから熱弁が聞こえてくる。僕は人間が騒がしいし、地域の共通の話題には熱くなる。

その反面、一人の時は静かに呑みたい、今日はこの地の名物「牛タン」を食べながら一杯と洒落こもる。◆戦国時代の茶人の名前のその店は、味もさることながら店員の対応がいい。ひとつ一つの品に誇りを持った感じで、料理の説明も笑顔でやさしく話す。大概の居酒屋は通り一遍のいわば流れ作業的な感があるが、ここは少し違うようだ。店の雰囲気もあって、これが一流店の貫禄なのか◆仙台駅の新幹線発着階に、どちらにも有名な牛タン屋がある。発車時間まで二軒並んだ通路に足を運ぶ一方、十名以上並ぶ店と、直ぐに入れる店がある。僕は双方共入店した事があり、味の優劣は解らないが、多分それほど変わらないはずだ。でも何故これほどの好不況の差があるのか、お客が並ぶにはそれなりの理由があるのだろう◆東京五輪決定に、「ニュースキャスターが「おもてなし」を世界に印象づけた。そのお相手が環境相になり温暖化防止の一助として「買物袋」有料化を決めたが、有料化はともかくそれと同時に笑顔の接待対応も消え去り、日本が誇る「おもてなし」は何処へ◆「元気づくり」は農業振興と「四ツ小屋野菜」販売から交流拡大が目標。もちろんお客様のお喜びと、気持ちのこもる笑顔の「おもてなし」から。（英）